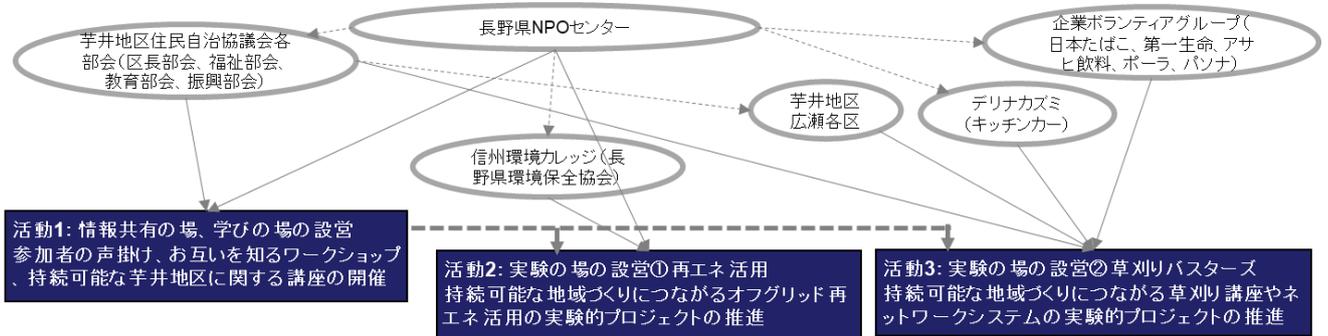
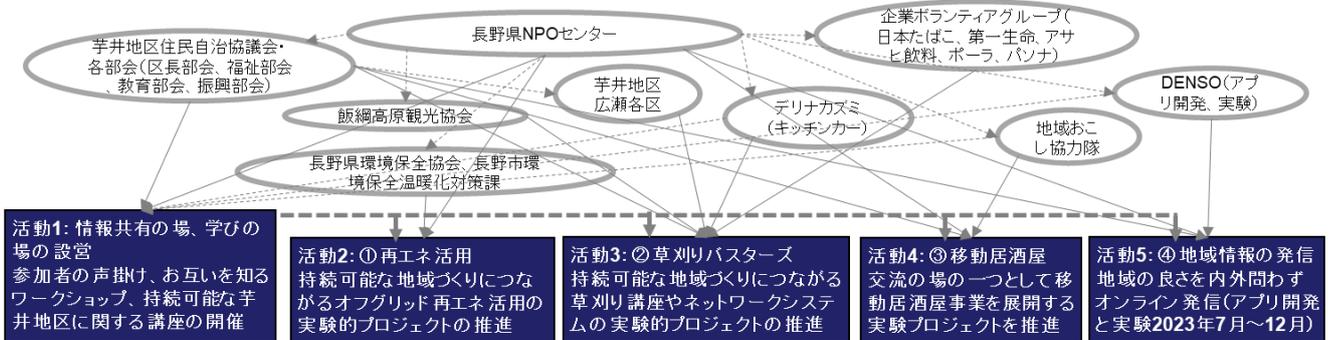


評価の視点1：関係主体の変遷による協働の推進

【2022年10月時点の状況】「いもいりリビングラボ」が立ち上がり二つの実験プロジェクトが始動した。



【2024年2月時点の状況】当初の二つの実験プロジェクトの関係団体が拡大明確化し取組が推進されるとともに、新たに二つの実験プロジェクトが立ち上がり始動した。



評価の視点2：選定指標（活動1、2、3（2023年1月選定））による評価

活動2①再エネ活用は2023年度は中断したが、リビングラボでの実験プロジェクトは2件増加した。また活動3②草刈りバスターズは活動が拡大し、受講料は日当などの経済効果も認められる。

	活動1	活動2		活動3		
名称	情報共有の場、学びの場の設営	実験の場の設営①再エネ活用		実験の場の設営②草刈りバスターズ		
活動内容	参加者の声掛け、お互いを知るワークショップ、持続可能な芋井地区に関する講座の開催	持続可能な地域づくりにつながるオフグリッド再エネ活用の実験的プロジェクトの推進		持続可能な地域づくりにつながる草刈り講座やネットワークシステムの実験的プロジェクトの推進		
貢献分野	【社会】	【環境】	【社会】	【環境】	【社会】	【経済】
採用指標	情報共有や学びの場の参加人数(人)、課題解決の地域活動実験的プロジェクト提案数(件)	再エネ実験設置数(ヶ所)、活用した再エネ量(kWh)	実験関係者数(人)、波及個所数(ヶ所)	実験プロジェクト推進による草刈り面積(平方m)	草刈りバスターズ受講者数(人)、イベント参加者数(人)	アクティビティ化による関連サービス提供売上(円)
貢献指標		7.2.1				8.9.1
貢献ターゲット	4.4、11.3、17.2	7.2、13.3	4.4、11.3、17.2	15.1	4.4、11.3、17.2	8.9
貢献ゴール	4、11、17	7、13	4、11、17	15	4、11、17	8
2022年10月まで	参加者数 60人 実験プロジェクト 2件	3ヶ所	66人	約 200㎡	受講者数 17人 イベント参加者数 22人	受講料 22,500円 日当 51,000円
上記から2024年2月まで	参加者数 40人 実験プロジェクト 4件	中断	中断	約 600㎡	受講者数 9人 イベント参加者数 28人	受講料 13,500円 日当 84,000円 補助金 1,618,000円

	活動1	活動2		活動3		
名称	情報共有の場、学びの場の設営	実験の場の設営①再エネ活用		実験の場の設営②草刈りバスターズ		
活動課題	行政頼みの地域運営ではなく、自分たちの地域を自分たちで運営する仕組みへの転換。「私たちが住み続けたい地域とは?」「そのために自分ができることは?」など自分ごととして関わる仲間を増やす。	家庭での化石燃料由来のエネルギーに頼る生活スタイル(自動車での移動、系統電力の利用など)が気候変動の原因ともなっている。芋井地区から太陽光やバイオマスなど再生可能エネルギーを活用したオフグリッド生活をすこしずつ取り入れる家庭を増やす		人口減少や高齢化が進み、公道や公園などの動力刈払機による草刈り作業の担い手を少なくなっており、生活や地区環境に支障をきたしつつある。地区外の関係人口を増やして、担い手不足を解決すると同時に、地区外との交流増により地区に活気を取り戻す		
活動内容	参加者の声掛け、お互いを知るワークショップ、持続可能な芋井地区に関する講座の開催	持続可能な地域づくりにつながるオフグリッド再エネ活用の実験的プロジェクトの推進		持続可能な地域づくりにつながる草刈り講座やネットワークシステムの実験的プロジェクトの推進		
地域循環共生圏貢献内容	【社会への貢献】 地域のつながりが強化、関係者のネットワークが拡大 参加者の資質の向上、課題と将来ビジョンの共有・我がこと化、地域活動の提案	【環境への貢献】 再エネの実験的導入による創エネ	【社会への貢献】 オフグリッド再エネ活用による防災力の強化、再エネ実験に伴う専門家や地区外の関係人口のネットワーク拡大	【環境への貢献】 草刈り実績による里山の持続性強化	【社会への貢献】 草刈りネットワークシステム構築と運用による関係者の増加と域外ネットワークの拡大	【経済への貢献】 プロジェクト推進に伴う外資(補助金)の導入 アクティビティ化による外来者へのサービス提供
採用指標	情報共有や学びの場の参加人数(人)、課題解決の地域活動実験的プロジェクト提案数(件)	再エネ実験設置数(ヶ所)、活用した再エネ量(kWh)	実験関係者数(人)、波及箇所数(ヶ所)	実験プロジェクト推進による草刈り面積(平方m)	草刈りバスターズ受講者数(人)、イベント参加者数(人)	アクティビティ化による関連サービス提供売上(円)
貢献SDGs指標		7.2.1最終エネルギー消費量に占める再生可能エネルギー比率				8.9.1全GDP及びGDP成長率に占める割合としての観光業の直接GDP
貢献SDGsターゲット	4.4(略)技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる 11.3(略)包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する 17.2さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる 13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人の能力及び制度機能を改善する。	4.4(略)技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる 11.3(略)包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する 17.2さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する	15.1森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。	4.4(略)技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる 11.3(略)包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する 17.2さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する	8.9 雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する
貢献SDGsゴール	4 すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する 11 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する 17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	7 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する 13 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	4 すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する 11 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する 17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	4 すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する 11 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する 17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	8 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
2022年10月まで		参加者数60人 実験プロジェクト2件	3ヶ所	66人	約200㎡ 受講者数17人 イベント参加者数22人	受講料22,500円 日当51,000円
上記から2024年2月まで		参加者数40人 実験プロジェクト4件	中断	中断	約600㎡ 受講者数9人 イベント参加者数28人	受講料13,500円 日当84,000円 補助金1,618,000円